

『本人・保護者と共につくる支援シート1』の取り扱い等について

横須賀市教育委員会学校教育課

1. はじめに

横須賀市では、乳幼児期から学校卒業後にわたって、一貫した相談支援体制を整備するために、『特別支援教育推進事業』を進めております。

その活動の一つとして、『本人・保護者と共につくる支援シート』を推進しております。これは、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、さらに中学校から高等学校等、そして就労へと進む際に、本人・保護者、そして学校が協力してこれまでの指導内容や今後の支援計画等を記載し、一貫した支援体制を作り上げていくためのものです。

今後も研究・検討をまいりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

2. 書式について

- (1) A4縦置き、横書き（別紙）を「本人・保護者と共につくる支援シート1 これまでの支援これまでの支援」とする。（以下、「支援シート」）
- (2) 「支援シート」の他に、「記入例（幼児用・小学生用・中学生用）」「記入のポイント例」があるので、必要に応じて利用することができる。
- (3) 「支援シート」の他に、別添資料（ビデオ、写真、作品等も含む）を送付することが可能であるが、事前に保護者の了承を得る必要がある。

3. 作成の手順等について

- (1) 「支援シート」の作成にあたっては、以下の手順を基本とする。
 - ①これまでの指導内容や資料等、及び保護者面談での内容をもとに、担任が「支援シート」の原案を作成する。
※保護者が直接記入の方がよいと考えられる項目があれば、上記の限りではない。
 - ②担任が作成した「支援シート」を本人・保護者に提示し、保護者の意見や考えを計画の中に盛り込む。
 - ③保護者の意見等を盛り込んだ「支援シート」を本人・保護者に再度提示し了承を得る。
※①～③は手順の基本であり、担任と保護者が話し合いながら記入するなど、保護者の了承があれば、作成方法はさまざまである。
- (2) 「支援シート」の他に別添資料がある場合は、「支援シート」と一緒に保護者に提示し、了承を得る必要がある。
- (3) 「支援シート」の作成にあたっては、日常からの保護者との連携・連絡を密に行うことが大切である。

4. 管理・保存、及び送付方法について

【送り手側の機関・学校等】

- (1) 完成した「支援シート」を、保護者の確認のうえ、3枚複写する。（以後、完成した「支援シート」を「本書」と表記する。）
 - ①保護者保存用 1部
 - ②教育委員会提出用 1部

③機関・学校等保存用

1部

- (2) 専用ファイルに入れた「本書」と「保護者保存用」を本人及び保護者にわたし、専用ファイルに入れた「本書」は次の進路先に直接届けるよう、本人・保護者に指示する。
「保護者保存用」は保護者が管理する。
- (3) 以前に在籍していた機関・学校等からの「本書」がある場合は、それも合わせて専用ファイルに入れて本人・保護者にわたし、次の機関・学校等に届くようにする。
- (4) 「教育委員会提出用」は、機関・学校等で取りまとめ、親展にて年度内に提出する。
送付先：横須賀市教育委員会 学校教育課 特別支援教育担当指導主事 宛
- (5) 「学校保存用」は、指導要録（指導に関する記録）と一緒に保存する。
- (6) 別添資料のうち、ビデオ、写真、作品等があれば、保護者に返却することとする。

【受け手側の機関・学校等】

- (1) 本人・保護者より、専用ファイルに入った「本書」を受け取る。
- (2) 本人・保護者に了承を得て「本書」を複写し、担任が日常の指導に役立てるために使用する。
- (3) 複写が終わった「本書」は専用ファイルに戻し、紛失等の危険のない場所に保管する。
- (4) 本人が卒業する際、前機関・学校等から送られた「本書」に、当機関・学校の「本書」を加え、専用ファイルに入れて、本人・保護者に渡して次の機関・学校等にわたるようにする。
- (5) 本人が卒業する際、必要に応じて複写したものは、担任の責任において処分する。

【教育委員会】

- (1) 送り手側の機関・学校等から送付された「教育委員会保存用」は、学校教育課特別支援教育担当指導主事が責任を持って保管する。
- (2) 保管場所については、紛失等の危険のない場所とする。

5. その他

- (1) 「支援シート」の具体的な記載事項、記載時期等については、『支援が必要な子どものための「個別の支援計画」作成ガイドブック』（神奈川県教育委員会）を参照することとする。

本人・保護者と共につくる支援シートI これまでの支援これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
よこすか たろう 横須賀 太郎	△△小学校 ↓ □□中学校	平成 18 年 (2006 年) 2 月	○横須賀 はま子 (母親) ○大津 三春 (担任)

*記入者には○印をつける

Needs	<p>本人・保護者の 願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学、国語は本人に合った勉強をさせたい。 ・他の授業や学校生活は、できるかぎり通常の学級で学習させてほしい。 ・体育や音楽では、多少苦手がものがあるが、時間をかけて指導していただきたい。 ・まちがいや失敗をすることが多いが、叱られると固まってしまう傾向があるので、本人に分かるように指導を進めてほしい。
-------	---

Do	<p>これまでの取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所属機関における 指導・支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・計算と漢字は課題の数を少なくして、必ず取り組むように工夫した。 ・体調のよくないときは保健室に行きたがるので、養護教諭に協力してもらい、できるだけ早く教室へ戻れるよう促してもらった。 </td> </tr> <tr> <td>家庭生活 余暇・地域生活</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・外で遊びたがらない。ゲームやテレビが大好きである。 ・家では落ちついている。学校のように暴れたりすることはない。 ・妹とケンカをしたり、物をなくした時はすぐに怒り出す。 </td> </tr> <tr> <td>健康・安全・相談</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・健康であるが、時々、物が見えていないのではないかと思うときがある。 ・怒っている時や何かに夢中になっている時は、注意しても何も耳に入らないので、あらためて後から話をする必要がある。 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	所属機関における 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・計算と漢字は課題の数を少なくして、必ず取り組むように工夫した。 ・体調のよくないときは保健室に行きたがるので、養護教諭に協力してもらい、できるだけ早く教室へ戻れるよう促してもらった。 	家庭生活 余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ・外で遊びたがらない。ゲームやテレビが大好きである。 ・家では落ちついている。学校のように暴れたりすることはない。 ・妹とケンカをしたり、物をなくした時はすぐに怒り出す。 	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・健康であるが、時々、物が見えていないのではないかと思うときがある。 ・怒っている時や何かに夢中になっている時は、注意しても何も耳に入らないので、あらためて後から話をする必要がある。
項目	内容								
所属機関における 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・計算と漢字は課題の数を少なくして、必ず取り組むように工夫した。 ・体調のよくないときは保健室に行きたがるので、養護教諭に協力してもらい、できるだけ早く教室へ戻れるよう促してもらった。 								
家庭生活 余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ・外で遊びたがらない。ゲームやテレビが大好きである。 ・家では落ちついている。学校のように暴れたりすることはない。 ・妹とケンカをしたり、物をなくした時はすぐに怒り出す。 								
健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・健康であるが、時々、物が見えていないのではないかと思うときがある。 ・怒っている時や何かに夢中になっている時は、注意しても何も耳に入らないので、あらためて後から話をする必要がある。 								

See	<p>これまでの取組の評価</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>学習面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・算数は少人数指導なので騒音が少なく、他の教科よりも楽に参加できたと本人も自覚している。しかし、答え合わせで誤答が分かると、怒ったり固まったりして反応しなくなったりした。 ・意見を発表できる場面があると、積極的に授業に参加することができる。 </td> </tr> <tr> <td>生活面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・朝会などで自分の位置が分からなくなることがあるので、前後の児童に声かけを依頼した。 ・清掃でも仕事の分担が分からないので、支援が必要である。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・算数は少人数指導なので騒音が少なく、他の教科よりも楽に参加できたと本人も自覚している。しかし、答え合わせで誤答が分かると、怒ったり固まったりして反応しなくなったりした。 ・意見を発表できる場面があると、積極的に授業に参加することができる。 	生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会などで自分の位置が分からなくなることがあるので、前後の児童に声かけを依頼した。 ・清掃でも仕事の分担が分からないので、支援が必要である。
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・算数は少人数指導なので騒音が少なく、他の教科よりも楽に参加できたと本人も自覚している。しかし、答え合わせで誤答が分かると、怒ったり固まったりして反応しなくなったりした。 ・意見を発表できる場面があると、積極的に授業に参加することができる。 				
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会などで自分の位置が分からなくなることがあるので、前後の児童に声かけを依頼した。 ・清掃でも仕事の分担が分からないので、支援が必要である。 				

Plan	<p>これからの計画</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>教育における 指導・支援</td> <td> <p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動教室や学習の準備について、見通しが持てるように板書や掲示物を使用するなどの配慮を行う必要がある。 ・興奮しすぎた時は、狭いスペースでも一人になれる場所を提供する必要がある。 </td> </tr> <tr> <td>家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加する。 ・本人に合った高等学校で学び、就職をさせる。 </td> </tr> <tr> <td>健康・安全・相談</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・健康のため日常的に運動ができるよう配慮する。 ・不安になったり認めてほしい時は、大人に近づき話しかけるが、単なる甘えと片付けずに、本人の適切な振る舞い方を指導していく。 </td> </tr> </tbody> </table>	教育における 指導・支援	<p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動教室や学習の準備について、見通しが持てるように板書や掲示物を使用するなどの配慮を行う必要がある。 ・興奮しすぎた時は、狭いスペースでも一人になれる場所を提供する必要がある。 	家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加する。 ・本人に合った高等学校で学び、就職をさせる。 	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のため日常的に運動ができるよう配慮する。 ・不安になったり認めてほしい時は、大人に近づき話しかけるが、単なる甘えと片付けずに、本人の適切な振る舞い方を指導していく。
教育における 指導・支援	<p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動教室や学習の準備について、見通しが持てるように板書や掲示物を使用するなどの配慮を行う必要がある。 ・興奮しすぎた時は、狭いスペースでも一人になれる場所を提供する必要がある。 						
家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加する。 ・本人に合った高等学校で学び、就職をさせる。 						
健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のため日常的に運動ができるよう配慮する。 ・不安になったり認めてほしい時は、大人に近づき話しかけるが、単なる甘えと片付けずに、本人の適切な振る舞い方を指導していく。 						

本人・保護者と共につくる支援シートI これまでの支援これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
よこすか いちろう 横須賀 一郎	□□中学校 ↓ △△養護学校 高等部	平成 18 年 (2006 年) 2 月	○横須賀 よう子 (母親) ○衣笠 栄 (担任) 津久井 南 (養護教諭)

*記入者には○印をつける

Needs 本人・保護者の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校高等部を卒業した後は、就労を希望している。 ・養護学校高等部の3年間で、情緒の安定を図り、集中力が継続するよう指導していただきたい。 ・現在の排泄は、下着をすべて脱いで様式個室を利用している。この3年間で、自力での排泄を身につけ、社会生活に適応できるよう指導をお願いしたい。
------------------------	--

Do これまでの取組	項目	内容
これまでの取組	所属機関における 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で、言葉かけを多くすることにより、語彙数が増えるとともに情緒が安定してきた。 ・本人の「嫌だ」のサインを尊重することで、イライラ感を軽減することができた。 ・授業では、学習のパターンが決まっていると気持ちが安定し、不安感の軽減につながっている。
	家庭生活 余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ・起床して登校し、帰宅してから就寝するまで生活のパターンが決まっている。 ・休日は家族とドライブに出かけることを楽しみにしている。 ・地域のボランティア等はこれまで利用したことがない。
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連絡を密に行い、睡眠時間を把握した上で指導を行っている。 ・気温が下がると排泄感覚が短くなるので、小まめな声かけを行っている。

See これまでの取組の評価	<p>学習面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる教師が教室内にすることで、学習活動にも集中することができた。 ・自分から友人に言葉かけを行うようになったことで、情緒がより安定した。 <p>生活面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ指導については、スモールステップを設定して指導を繰り返してきたが、中学校段階では大きな進展は見られなかった。しかし、方法が間違っていた訳でなく、取り組む時間が短かったので、今後の継続が大切である。 ・情緒の安定が図れたので、余暇にボランティア等を利用することが望まれる。
-------------------	--

Plan これからの計画	<p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <p>教育における 指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情緒の安定を図る必要があるため、本人の「嫌だ」のサインを尊重しつつも、新しい課題に挑戦できるよう、信頼関係の構築に努める。 ・排泄の自立にむけて、段階を追って計画的に支援する。 <p>家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日にボランティアや福祉サービスを利用し、余暇の充実を図る。 ・就労を前提として、社会のルールなどについて、生活の中で教える。 <p>健康・安全・相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携をもとに、日課表を作成し、本人の自覚を促す。 ・バスに乗る時刻を生活の起点とし、自主的に日課を送れるよう指導を進める。
-----------------	---

本人・保護者と共につくる支援シートI これまでの支援 これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
よこすか はなこ 横須賀 花子	〇〇保育園 ↓ △△小学校	平成 18 年 (2006 年) 2 月	○横須賀 花江 (母親) ○浦賀 道子 (担任)

*記入者には○印をつける

Needs 本人・保護者の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・「こだわり」なのか「わがまま」なのか区別が付きにくく、気分にもラがあるため、運動会やお遊戯会等で、みんなと同じ行動ができるようになることを望んでいる。 ・急に予定が変わったりすると、それを受け入れることが難しいので、集団での生活を通して、自分の考えていることと違ったことがあっても、それを受け入れられるようにしてほしい。
------------------------	--

Do これまでの取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所属機関における 指導・支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の流れは理解しているものの、自発性が乏しいので、その都度促しが必要であり、個別に言葉かけをしている。 ・切り換えが悪く混乱することがあるので、事前にスケジュールを伝えることでスムーズな行動や移動ができるようになってきた。 </td> </tr> <tr> <td>家庭生活 余暇・地域生活</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・家ではテレビゲームやビデオを見ることが多い。 ・兄弟でゲームの取り合いからケンカに発展することもある。 ・地域の公園では他の子どもと遊ぶことは少なく、一人で砂遊びをしている。 ・買い物に連れて行くと、勝手な行動が多く迷子になることもしばしばである。 </td> </tr> <tr> <td>健康・安全・相談</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・偏食が目立つ。 ・父親は仕事が忙しく、本児のことについてゆっくり話すことも少なく、育児について母1人で抱え込むことが多い。 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	所属機関における 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の流れは理解しているものの、自発性が乏しいので、その都度促しが必要であり、個別に言葉かけをしている。 ・切り換えが悪く混乱することがあるので、事前にスケジュールを伝えることでスムーズな行動や移動ができるようになってきた。 	家庭生活 余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではテレビゲームやビデオを見ることが多い。 ・兄弟でゲームの取り合いからケンカに発展することもある。 ・地域の公園では他の子どもと遊ぶことは少なく、一人で砂遊びをしている。 ・買い物に連れて行くと、勝手な行動が多く迷子になることもしばしばである。 	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・偏食が目立つ。 ・父親は仕事が忙しく、本児のことについてゆっくり話すことも少なく、育児について母1人で抱え込むことが多い。
項目	内容								
所属機関における 指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の流れは理解しているものの、自発性が乏しいので、その都度促しが必要であり、個別に言葉かけをしている。 ・切り換えが悪く混乱することがあるので、事前にスケジュールを伝えることでスムーズな行動や移動ができるようになってきた。 								
家庭生活 余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではテレビゲームやビデオを見ることが多い。 ・兄弟でゲームの取り合いからケンカに発展することもある。 ・地域の公園では他の子どもと遊ぶことは少なく、一人で砂遊びをしている。 ・買い物に連れて行くと、勝手な行動が多く迷子になることもしばしばである。 								
健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・偏食が目立つ。 ・父親は仕事が忙しく、本児のことについてゆっくり話すことも少なく、育児について母1人で抱え込むことが多い。 								

See これまでの取組の評価	<table border="1"> <tr> <td>生活習慣 課題活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の積み重ねで、食事、排泄、着脱等の基本的な生活習慣が身についてきている。 ・見通しを立てることにより、スムーズな活動ができるようになったので、今後も事前にスケジュールを伝えていくことが必要と思われる。 ・集団生活は楽しいようであるが、順番やルールが守れない場面がある。やってよいこと、悪いことを含めて、場面に応じた指導や支援が必要と思われる。 </td> </tr> </table>	生活習慣 課題活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の積み重ねで、食事、排泄、着脱等の基本的な生活習慣が身についてきている。 ・見通しを立てることにより、スムーズな活動ができるようになったので、今後も事前にスケジュールを伝えていくことが必要と思われる。 ・集団生活は楽しいようであるが、順番やルールが守れない場面がある。やってよいこと、悪いことを含めて、場面に応じた指導や支援が必要と思われる。
生活習慣 課題活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の積み重ねで、食事、排泄、着脱等の基本的な生活習慣が身についてきている。 ・見通しを立てることにより、スムーズな活動ができるようになったので、今後も事前にスケジュールを伝えていくことが必要と思われる。 ・集団生活は楽しいようであるが、順番やルールが守れない場面がある。やってよいこと、悪いことを含めて、場面に応じた指導や支援が必要と思われる。 		

Plan これからの計画	<table border="1"> <tr> <td>教育における 指導・支援</td> <td> <p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団行動が苦手だが、手伝いや当番で興味を持たせ、活動の意欲を引き出すよう指導する。 </td> </tr> <tr> <td>家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生に兄が在学、弟も数年後に入学するなど、保護者は兄弟への影響を心配しているため、担任と連携を図る必要がある。 ・母は腰痛があるので、余暇について社会資源やサービス利用の提案が必要である。 </td> </tr> <tr> <td>健康・安全・相談</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・経験不足による食事（食材）の拒否がある。 ・家庭での食事づくりの手伝いをするなど、食べることに意欲を持たせ、楽しく食べるための配慮が必要と思われる。 </td> </tr> </table>	教育における 指導・支援	<p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団行動が苦手だが、手伝いや当番で興味を持たせ、活動の意欲を引き出すよう指導する。 	家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生に兄が在学、弟も数年後に入学するなど、保護者は兄弟への影響を心配しているため、担任と連携を図る必要がある。 ・母は腰痛があるので、余暇について社会資源やサービス利用の提案が必要である。 	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・経験不足による食事（食材）の拒否がある。 ・家庭での食事づくりの手伝いをするなど、食べることに意欲を持たせ、楽しく食べるための配慮が必要と思われる。
教育における 指導・支援	<p>※受け手側の学校・機関で記入します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団行動が苦手だが、手伝いや当番で興味を持たせ、活動の意欲を引き出すよう指導する。 						
家庭生活 余暇・地域生活 卒業後の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生に兄が在学、弟も数年後に入学するなど、保護者は兄弟への影響を心配しているため、担任と連携を図る必要がある。 ・母は腰痛があるので、余暇について社会資源やサービス利用の提案が必要である。 						
健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・経験不足による食事（食材）の拒否がある。 ・家庭での食事づくりの手伝いをするなど、食べることに意欲を持たせ、楽しく食べるための配慮が必要と思われる。 						